| 学校番号 | T0105 |
|---|---|

# 令和２年度　外国語科

| 教科 | 外国語 | 科目 | コミュニケーション英語Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | Revised COMET English Communication　Ⅰ（数研出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 教科書の内容に関連した別教材 | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ことを意識して学習しましょう。
・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

## ２　学習の到達目標

| ①話すこと | | ②書くこと | | ③聞くこと | | ④読むこと | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 |
| ・アクセントやイントネーションに注意しながら正確な音を発することができる。 | コミュ<br>英　Ⅰ<br>観察 | ・すでに与えられてある単語や表現、文法事項の知識を活用して、ごく簡単な英文（１～２文）を書くことができる。 | コミュ<br>英Ⅰ<br>ハンドアウト<br>考査 | ・アルファベットを聞いて、どの音か区別することができる。<br>・ゆっくりはっきり話されれば、「立て」「座れ」などの短い簡単な指示を理解することができる。 | コミュ<br>英Ⅰ<br>ハンドアウト<br>観察 | ・音で知っている単語を書かれているものの中から見つけ出すことができる。<br>・基本的で具体的な単語や句の意味を、実物を思い浮かべて理解することができる。 | コミュ<br>英Ⅰ<br>ハンドアウト<br>考査<br>観察 |

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 外国語表現の能力 | 外国語理解の能力 | 言語や文化についての知識理解 |
|---|---|---|---|---|
| 実施方法 | コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

４　学習の活動

| 単元 | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 1<br>“Why Do We Study English?”<br>（６時間） | 英語を勉強する目的について、平易な英語を用いてそれぞれの考えを述べ合う内容。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・英語を勉強するそれぞれの目的とその背景や魅力に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。<br>・自分が英語を勉強する目的について積極的に表現できる。 | 教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。 | ・英語を勉強するそれぞれの目的とその背景や魅力に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。<br>・自分が英語を勉強する目的について積極的に表現しようとしている。 | 机間指導を行い、生徒の様子を観察する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 自分が英語を勉強する目的について表現し、説明できる。 | 教科書本文やその問題を用いて、英語を勉強する目的についての説明や表現をする。 | 自分が英語を勉強する目的について表現し、説明できる。 | ・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。<br>・定期考査の筆記テストにおいて判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 英語を勉強する目的について読んで情報を理解し、概要をとらえることができる。 | 教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。 | 英語を勉強する目的について読んで情報を理解し、概要をとらえることができる。 | 机間指導を行い、生徒の様子を観察する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 基本的な主語と動詞の働きを理解できる。 | 教科書本文やその問題を用いて、日本語を確認しながら文法事項や場面を理解する。 | 基本的な主語と動詞の働きを理解している。 | ・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。<br>・定期考査の筆記テストにおいて判断する。 |

| 単元 | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 2<br>“Bento”<br>（６時間） | 海外でも人気となってきている日本の「弁当」に焦点をあて、どんな良い点があるのかを紹介する内容。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・日本の文化である弁当の海外での人気とその背景や魅力に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。<br>・日本文化について積極的に表現できる。 | 教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。 | ・日本の文化である弁当の海外での人気とその背景や魅力に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。<br>・日本文化について積極的に表現しようとしている。 | 机間指導を行い、生徒の様子を観察する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 日本文化について表現し、説明できる。 | 教科書本文やその問題を用いて、日本文化についての説明や表現をする。 | 日本文化について表現し、説明できる。 | ・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。<br>・定期考査の筆記テストにおいて判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 日本文化についての説明を読んで情報を理解し、概要をとらえることができる。 | 教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。 | 日本文化についての説明を読んで情報を理解し、概要をとらえることができる。 | 机間指導を行い、生徒の様子を観察する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・現在形と過去形について基本的な知識を理解できる。<br>・日本文化の説明という場面での表現を理解できる。 | 教科書本文やその問題を用いて、日本語を確認しながら文法事項や場面を理解する。 | ・現在形と過去形について基本的な知識を理解している。<br>・日本文化の説明という場面での表現を理解している。 | ・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。<br>・定期考査の筆記テストにおいて判断する。 |

| 単元 | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 3<br>“Could You Give Me Some Advice?”<br>（６時間） | 学校生活のうち、恋愛をテーマとした内容のメールを送り、現在の自分の状況を伝えてアドバイスを求める内容。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・学校生活の一場面である恋愛とその背景や魅力に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。<br>・自分の学校生活について積極的に表現できる。 | 教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。 | ・学校生活の一場面である恋愛とその背景や魅力に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。<br>・自分の学校生活について積極的に表現しようとしている。 | 机間指導を行い、生徒の様子を観察する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 自分の学校生活について表現し、説明できる。 | 教科書本文やその問題を用いて、学校生活についての説明や表現をする。 | 自分の学校生活について表現し、説明できる。 | ・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。<br>・定期考査の筆記テストにおいて判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 学校生活についての説明を読んで情報を理解し、概要をとらえることができる。 | 教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。 | 学校生活についての説明を読んで情報を理解し、概要をとらえることができる。 | 机間指導を行い、生徒の様子を観察する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・助動詞について基本的な知識を理解できる。<br>・学校生活の説明という場面での表現を理解できる。 | 教科書本文やその問題を用いて、日本語を確認しながら文法事項や場面を理解する。 | ・助動詞について基本的な知識を理解している。<br>・学校生活の説明という場面での表現を理解している。 | ・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。<br>・定期考査の筆記テストにおいて判断する。 |

| 単元 | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 4<br>“My School, Your School”<br>（６時間） | 日本人の高校生と海外の高校生がインターネットを通じて、お互いの学校の違いを学習していく内容。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・日本と海外の学校の違いとその背景や魅力に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。<br>・自分の通う学校について積極的に表現できる。 | 教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。 | ・日本と海外の学校の違いとその背景や魅力に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。<br>・自分の通う学校について積極的に表現しようとしている。 | 机間指導を行い、生徒の様子を観察する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 自分の通う学校について表現し、説明できる。 | 教科書本文やその問題を用いて、自分の通う学校についての説明や表現をする。 | 自分の通う学校について表現し、説明できる。 | ・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。<br>・定期考査の筆記テストにおいて判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 日本と海外の学校の違いについての説明を読んで情報を理解し、概要をとらえることができる。 | 教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。 | 日本と海外の学校の違いについての説明を読んで情報を理解し、概要をとらえることができる。 | 机間指導を行い、生徒の様子を観察する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・不定詞について基本的な知識を理解できる。<br>・違いの説明という場面での表現を理解できる。 | 教科書本文やその問題を用いて、日本語を確認しながら文法事項や場面を理解する。 | ・不定詞について基本的な知識を理解している。<br>・違いの説明という場面での表現を理解している。 | ・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。<br>・定期考査の筆記テストにおいて判断する。 |

| 単元 | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 5<br>“Peace, the Polar Bear”<br>（６時間） | 日本でシロクマの人口哺育を行った飼育員の苦労から、生き物とどう向き合うかを学習する内容。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・生き物と真摯に向き合うこととその背景や魅力に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。<br>・自分の興味ある生き物について積極的に表現できる。 | 教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。 | ・生き物と真摯に向き合うこととその背景や魅力に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。<br>・自分の興味ある生き物について積極的に表現しようとしている。 | 机間指導を行い、生徒の様子を観察する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 自分の興味ある生き物について表現し、説明できる。 | 教科書本文やその問題を用いて、興味ある生き物についての説明や表現をする。 | 自分の興味ある生き物について表現し、説明できる。 | ・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。<br>・定期考査の筆記テストにおいて判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 生き物と向き合うということについての説明を読んで情報を理解し、概要をとらえることができる。 | 教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。 | 生き物と向き合うということについての説明を読んで情報を理解し、概要をとらえることができる。 | 机間指導を行い、生徒の様子を観察する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・動名詞について基本的な知識を理解できる。<br>・生き物と向き合うという場面での表現を理解できる。 | 教科書本文やその問題を用いて、日本語を確認しながら文法事項や場面を理解する。 | ・動名詞について基本的な知識を理解している。<br>・生き物と向き合うという場面での表現を理解している。 | ・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。<br>・定期考査の筆記テストにおいて判断する。 |